



筑波大学 ヒューマンバイオロジー学位プログラム

適正技術教育 公開最終発表会

APPROPRIATE TECHNOLOGY FINAL PITCH

@UNIVERSITY HALL IN UNIVERSITY OF TSUKUBA



実施日時・場所

実施日時：2015年12月13日(日)
13:00~18:00 (12:45開場)
実施場所：筑波大学大会館 国際会議室(3階)
〒305-0006 茨城県つくば市 天王台1-1-1
地図URL：
https://www.tsukuba.ac.jp/access/map_south.html

見学参加方法(無料)

どなたでも見学参加可能です。参加をご希望の方は12月10日までに下記参加登録フォームより登録をお願いいたします。見学希望者多数の場合は抽選の上、参加可否の結果を12月11日にご登録頂いたメールアドレス宛に、メールにてご連絡致します。

登録フォーム：<http://goo.gl/forms/I7TcaZqvyt>
お問い合わせ担当者：浅野高光(株式会社ラーニング・イニシアティブ)
お問い合わせ先：takamitsu.asano@learning-initiative.com

ゲストコメンテーター

金保安則(筑波大学医学医療系 教授 人間総合科学研究科研究科長)

1982年京都薬科大学大学院薬学研究科博士課程修了。1982年薬学博士(京都薬科大学)。1983年NIH 博士研究員。1985年コネチカット州立大学博士研究員。1987年米国 Smith Kline & French 博士研究員。1989年岐阜大学助手(医学部)。1993年東京工業大学助教授(生命理工学部)。1999年(財)東京都臨床 医学総合研究所部長(薬理研究部門)。2005年より筑波大学教授(大学院人間総合科学研究科)。現在は主に脂質性シグナル伝達に関する研究に取り組む傍ら、研究科長として修学環境の整備と大学院教育の実質的な国際化推進に献身する。専門は細胞生物学、生理化学。

伴場賢一(一般社団法人 Bridge for Fukushima 代表理事)

2011年3月11日の東日本大震災後、途上国での緊急救援・社会的起業・開発援助の経験を生かし、一般社団法人 Bridge for Fukushima を立ち上げ、福島市、相馬市、南相馬市を中心に活動を行っている。おもな経歴としては日本の大学を卒業後銀行に勤務。転職し国際 NGO のカンボジア・ザンビア等で、事業を統括。主にマイクロファイナンスやブライマリーヘルスケア事業に5年ほどかかわる。その後、FAO(国連食糧農業機関)カンボジア事務所にてコンサルタントとして勤務した後、JICA 海外長期研修生として、LSE(ロンドン大学経済政策大学院)で社会政策を学ぶ。大学院の後 JICA(国際協力機構)の専門家としてアフリカを中心に農業/小規模ビジネス案件に関わりながら、日本初の途上国向け Social Investment Capital の立ち上げを行う。現在は途上国コンサルタント会社を営み、BoP や社会起業にも関わっている。福島県福島市出身。復興庁では政策調査官も兼任。

高橋 孝之(株式会社ホジョセン代表取締役、株式会社いつつ取締役)

大学卒業後、アクセシビリティ官公庁本部にて官公庁の業務改革プロジェクトに従事。大学院留学を経て、MM 総研にて IT サービスの企画・コンサルティング、新規事業コンサルティング、新サービスの調査研究、外資系消費財メーカーにて市場分析、消費者調査、ブランド戦略、販売戦略、販賣量予測などに従事。その後参画したアドバンスト・マークでは、ハンズオンの事業再生コンサルティングに従事。クライアントの経営本部長、マーケティング部長として事業再生、ブランド再生、組織作り、マーケティング、広報、営業、クリエイティブ、海外投資家との折衝など幅広く携わる。2012年に株式会社ホジョセンを設立、代表取締役就任。生活者視点のブランド・マーケティングや事業戦略のコンサルティングをおこなう。2015年、日本伝統文化にマーケティングの考えを適用して普及すべく、プロの将棋女流棋士中倉彰子とともに株式会社いつつを設立、取締役就任。



Ph.D. Program in Human Biology
hbp.tsukuba.ac.jp/



筑波大学
University of Tsukuba



University of Tsukuba
School of Integrative and Global Majors
sigma